

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	透析患者における精神科受診の影響：観察研究			
2. 対象患者	2005年から2015年まで鷹揚郷腎研究所弘前病院で透析を受けた患者			
3. 対象となる期間	委員会承認日 ～ 31年 3月 31日			
4. 実施診療科等	弘前大学大学院医学研究科 神経精神医学講座			
5. 研究責任者	氏名	古郡規雄	所属	弘前大学大学院医学研究科 神経精神医学講座
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	鷹揚郷腎研究所弘前病院			
7. 研究の意義	近年高齢化に伴い、全国的に血液透析患者が増えています。透析患者はさまざまな精神疾患を合併します。その中にはうつや不眠・せん妄が多くみられます。血液透析導入時にうつ状態である場合、生存率が低くなり、その死因は心疾患が多いと報告されています。せん妄に関しては不明です。研究の成果は、血液透析が発展することに役立ちます。将来、腎不全に苦しむ方々の診断、治療などがより効果的に行われるようになることが期待されます。			
8. 研究の目的	精神科に受診された患者さまの治療経過を追跡調査することで、より良い治療法や継続しやすい治療法を明らかにすることが目的です。			
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合はの方法等)	鷹揚郷腎研究所弘前病院で透析を受けながら同院の精神科を受診された患者様の経過についてカルテや質問票の情報を調べていきます。対照として精神科を受診されなかった患者様の経過についてカルテや質問票の情報も調べていきます。			
10. 個人情報の保護	データは匿名化(氏名等を削除し、この研究のための識別符号を付与)され、データセンターに提供されます。また、対応表については本院の研究責任者である附病弘その他一部の関係者以外アクセスできないパソコン中に保管・管理します。			
11. 利益相反に関する状況	この研究には利益相反状態にある団体はありません。本研究は神経精神医学講座学講座の研究チームにより公平・公正に実施されます。また、本研究の利益相反については、大学院医学研究科医学研究(臨床研究等)利益相反マネジメント委員会に届け出ております。			
12. 連絡先	弘前大学大学院医学研究科 古郡規雄			
	電話	0172-39-5066	FAX	0172-39-5067

提出先：医学部附属病院総務課総務グループ(総務・広報担当) mail:jm6453@hirosaki-u.ac.jp

※ 事前に大学院医学研究科倫理委員会の審査を経て許可されている必要があります。

(許可通知の写しを添付のこと)